

関東大震災と国際支援—国際協調による災害支援

阪本真由美*(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)

§ 1. はじめに

関東大震災においては、世界 30 カ国から約 2,211 万円(現在の 100 億円以上に相当)という大規模な国際支援が提供された¹⁾。これら国際支援のなかには、各国政府からの支援(二国間支援)のみならず、国際連盟(League of Nations)を通じた国際協調による支援もあった。国際連盟は、第一次世界大戦からの復興と平和な社会の実現を目的に 1920 年に設立された国際機関であり、災害被災国に対する支援が制度化されていたわけではない。それにも関わらず世界初となる国際協調による災害支援がなぜ実現したのか、本論では支援の経緯をたどることにより考察する。

§ 2. 第4回国際連盟総会と日本への支援

関東大震災が起きたのは、第4回国際連盟総会がジュネーブで開催される直前であった。9月3日から開催された国際連盟総会は、石井菊次郎連盟議長の演説により始められた。続いてオーストラリアの Joseph Cook 高等弁務官(前オーストラリア首相)より、日本が震災により甚大な被害を受けたことに対し深い哀悼の意が述べられた。これに Agustin Edwards Mac-Clure (チリ代表)、Mirza Riza Khan (ペルシャ代表)から哀悼の演説が続き、日本への国際支援を検討するための委員会設置が満場一致で可決された²⁾。

このように、第4回国際連盟総会は関東大震災哀悼の意から会議が開始した。会議冒頭の石井の演説では関東大震災について触れられていないのとは対照的に、各国から哀悼の意が相次いで示され、石井から感謝の意が述べられた。当時、日本の被災状況はジュネーブでも報道されていた。国際連盟総会において日本への支援を表明したいという申し入れも多く、事前調整により日本同様に太平洋に位置するオーストラリアやチリがその役割を担うことになっていた³⁾。

§ 3. 国際連盟経費分担率の軽減

第4回国際連盟総会において議論された日本への支援としては、国際連盟経費分担率の軽減と、被災した大学・図書館への知的支援があげられる。このうち国際連盟経費分担の軽減は、日本政府として審議を必要としたテーマであった。しかしながら、ギリシャやルーマニア等から同様の要請が出され棄却された経緯もあり、日本政府はこの議題を切り出せずにいた³⁾。オーストリアへの救済問題の議論の場で、安達峰一郎全権大使(日本代表)がオーストリアへの見舞いの意を述べるとともに、日本における震災の被害状況

を説明したところ、その翌日、フランス代表から非公式に国際連盟として日本に支援を行う義務があるものの、財政上それを実現する仕組みはない。そのため経費分担率を軽減することにより間接的に貢献することは可能かと意見照会があった。そして、13日に行われた委員会においてフランスより、震災により人的・物的被害を受けた国に対し一時経費分担率を軽減することが提案され、満場一致で可決された。

§ 4. 知的協力に関する支援

日本への国際支援について主として議論されたのが「知的協力に関する委員会」(現在の UNESCO)である。知的協力に関する委員会は、1922年に国際連盟に設置された委員会であり、当時は戦争からの知識人の保護等が主要テーマであった。関東大震災により大学・図書館が大きな被害を受けたことから、委員会では被災した文学・科学に関する蒐集品復旧のための方策が検討された³⁾。そして、日本国定図書館への図書 70 万冊の寄贈が決定された²⁾。

なお、図書寄贈をめぐってはイギリス国際連盟協会から、杉村陽太郎日本国際連盟協会代表にどのような支援が求められるのかという相談があった⁴⁾。これに対し、校舎は再建される可能性があるものの、図書の焼失は研究への支障となるため図書等の送付を希望すると回答していた⁴⁾。

§ 5. おわりに

以上に述べたように、関東大震災に対しては、国際連盟としてどのように支援を行うのが模索・検討され、各国の代表の調整により支援が実現していた。国際協調による災害支援が迅速に実現した背景には、国際連盟において大国として位置付けられていた日本の首都が壊滅的な被害を受けたという人道的な側面に加え、戦争とは異なり自然災害においては合意形成が比較的容易であったことが考えられる⁴⁾。

参考文献

- 1) 内閣府、「関東大震災と日本の災害対策」,令和 5 年版防災白書, pp2-16, 2023.
- 2) 内務省社会局, 大正震災志(下), 1926.
- 3) 外務省, 第 4 回国際連盟総会関係, 日本外交文書デジタルコレクション大正 12 年(1923 年)第 3 冊, pp265-290, 1923.
- 4) 国際連盟協会編, 我国の震災に対する諸外国の同情と震災に関する諸名士の所感, 国際連盟協会パンフレット第八輯, 1923.